

# 灰汁洗い後の補完剤活用

白木①-5



注意：アク取り洗浄剤 A3-B はアクロンAと比較して漂白成分（過酸化水素）が半分以上です。それでも劇甚汚れの除去には原液を使用する場合があります、過剰漂白の可能性があります。

1：残留漂白成分の灰色化を抑制



水洗い不足で灰色化します

A3-Re01

対策 -1

残留漂白成分の分解除去  
A3-Re01 で灰色化抑制  
木に残る残留漂白成分の  
分解除去を A3-S4 で  
洗浄後 A3-Re01 を塗布

2：激甚汚れ洗浄の過剰漂白に赤味注入



水洗い不足による灰色化と過剰漂白対策

A3-Re02

対策 -2



天然樹液 A3-Re02 で  
赤味の自然美復元

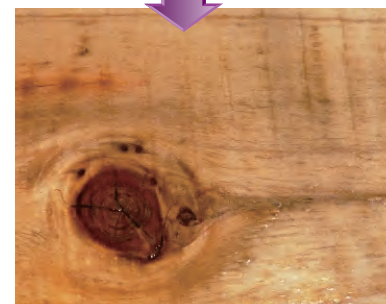
3：洗浄で取れない杉の黒変



杉の黒変対策

A3-Re03

対策 -3



杉材に発生する黒変の完全除去は  
極めて難しい汚れです

灰汁洗い後、天然樹液の赤味注入後WG5で自然美保護

A3Re02 でほんのり赤味注入 ほんのり赤味注入後WG5塗装



学術研究者（基太村洋子先生）論文には【黒変ハナズミ（端墨）現象を起こす物質は色素発生バクテリアが水溶性である為、水と共に木口に移動し、pH値が増大し、黒変が起これと考えられる。杉材の黒変はpH変動の原因と変色機構等究明すべき点が多い】と発表。A3-Re03は黒変の酸化重合が進んでいない部分には効果が、ありますが真黒な高分子色素化合物まで、酸化重合した部分の漂白は限度があります。ブルーステインモカビ洗浄剤では除去が難しい汚れです。